

### 切り拓く力



校長 菊地 透

宇都宮南高校PTAのみなみん、こんにちは。月日の経つのは本当に早いもので、本校に赴任してからあつという間に2年が過ぎ、「みなみ」に原稿を寄せるのも今回で3回目となりました。この間、本校の教育活動に対して深い御理解と御協力を賜りましたこと、冒頭まづもって御礼申し上げます。また、今後変わらぬ御支援をいただきますようお願いも申し上げます。

	4月		5月	
	遅刻	欠席	遅刻	欠席
H24	100	168	153	302
H25	58	134	80	215

さて、平成25年度のスタートに当たって生徒に係る素晴らしいニュースがあります。次の表は昨年度と今年度の生徒の遅刻・欠席の状況を比較したものです。遅刻についてはおよそ半減、欠席も大幅に減少しました。総会の折にも4月の状況についてお話ししましたが、5月もよい状況は続いています。また、保健室の利用者も昨年度と比較して、4月が132回から56回、5月が206回から153回と大きく減少しています。

学校の特色化を進める中で、昨年度策定した新たな教育目標の最初に掲げた「生きる意欲にあふれた自らの生に積極的に挑む生徒」というイメージが浸透してきたのだろうと本校生を頼もしく見ています。

ところで、この本校の特色化については、変化というキーワードで括られる社会の中で自立し豊かに生きていくためには、単なる教科書的な知識や技能の習熟に止まることなく総合的な人間力を高めなければならぬ、という考え方が基本にあります。学んだ知識は、それを活かす行動力や精神力があつてはじめて生きる力、人格の陶冶に繋がっていきます。身に付けた技能は、それを主体的に使うとうとする意欲や態度があつてはじめて個性の確立、可能性の実現に繋がっていきます。そのため本校で旗印とした言葉は「志」であり「文武一致」です。学校のホームページに詳しく載せてありますので、ぜひ御一読ください。

また、今年度は一人一人の生徒の集団内における「自己有用感」を高めることを目的に、一人一役割ということを進めていきます。役割の遂行を通じて、生徒が自分の属する集団の中で自分自身を肯定的に意識できるようにになれば、それは主体性や意欲に繋がっていきます。有用感を高めるためのキーワードは「貢献」「承認」「自己存在感」です。御家庭でも御一考ください。

### ご挨拶



PTA会長 関口 日出夫

こんにちは  
先日5月17日のPTA総会におきまして、PTA会長を拝命しました関口日出夫です。

昨年、PTA副会長として十分な活動ができたかどうか、自分自身甚だ疑問ですが、引き続き菊地校長先生を始め先生方やPTA副会長他役員の皆様にご助けていただき、PTA活動を充実させていきたいと思っております。

さて、先日テレビでお昼の情報番組を見ていましたところびっくりするニュースが飛び込んできました。かの三浦雄一郎（プロスキューヤー）さんが世界最高齢の80歳でエベレスト登頂に成功したのです。この「80歳」になっても衰えない「チャレンジスピリット」の素晴らしさ！

記者会見によりますと、「夢を見て、あきらめず実行した。あきらめなければ実現できる。素晴らしい宝物になった。」とありました。

私自身、この言葉に衝撃かつ感動を覚えました。もう50代だからといった言い訳が多くなつ

てきた自分が恥ずかしくも、ありました。

もちろん子ども達にもこの三浦雄一郎さんの言葉から何かを感じ取って欲しいと思います。情報が氾濫し、混沌としたこの時代で、なかなか目標が見つからず人生設計が染けない若者が増えている現在、エベレスト登頂という誰にも成し遂げられない夢のような話を、彼は日々コツコツと夢実現のために努力していく姿は何事と変え難く、子供たちには、「コツコツ努力する」ことはカッコ悪いことではないことを教えて頂いたように感じます。

また彼は「周りの助けによって、登頂させていただいた」とも云っております。

一番の理解者である家族、良き友人達が揃って初めて、この偉業を達成できたこと。

「お陰様の心」それはすなわち、人は一人では生きていけないことを明確に伝えてきました。

子どもたちにもひとりひとり目標とする山に向かって決して諦めず、コツコツと日々努力を積み重ね、よき理解者の先生や親に感謝をしつつ、良き友人と共に目標達成を成し遂げて欲しいと思います。

我々PTAも子供たちに対し程よい距離感を保ちながら、できる限りのバックアップをしていきたいと思っておりますので、PTA会員の皆様のご協力をお願いします。

平成二十五年度 役員



- 石井 宇賀神明 佐野
- 林 荒川(喜) 神澤
- 松林 岡本 荒川(和)
- 萩原 佐藤 関口
- 瀧川 伊藤(幸) 加藤
- 伊藤(寿) 野澤 江面
- 伊藤(愛) 山崎 布村先生
- 齋藤 月井
- 宇賀神(久)

PTA

- 顧問 菊地 透
- 会長 関口 日出夫
- 副会長 荒川 和江
- 書記 加藤 佐知子
- 書記 神澤 敦子
- 会計 江面 昌典
- 会計監査 増淵 敦男
- 三学年委員長 塩原 伸也
- 二学年委員長 布村 隆
- 一学年委員長 佐野 明代
- 総務部長 小河原 央雄
- 広報部長 野澤 克子
- 生活指導部長 山崎 早苗
- 研修部長 月井 祐子
- 厚生部長 齋藤 さゆり
- 顧問 菊地 透
- 会長 関口 日出夫
- 副会長 荒川 喜昭
- 書記 伊藤 幸恵
- 書記 増淵 敦男
- 会計 宇賀神 久美子
- 監事 小瀧 貴子
- 理事 佐藤 順子
- 秋山 寿子
- 岡本 麗子
- 宇賀神 明弘

部活動後援会

- 顧問 菊地 透
- 会長 関口 日出夫
- 副会長 荒川 喜昭
- 書記 伊藤 幸恵
- 書記 増淵 敦男
- 会計 宇賀神 久美子
- 監事 小瀧 貴子
- 理事 佐藤 順子
- 秋山 寿子
- 岡本 麗子
- 宇賀神 明弘

三学年

寄り添い、見守る

三学年委員長 松林 厚子  
 昨年度に引き続き学年委員長を努めさせていただくことになりました。昨年度は皆様のご協力をいただき無事に一年を終えることができましたことに感謝しております。

二学年

二年生になって

第二学年委員長 林 厚子  
 昨年度に引き続き今年度も学年委員長を努めさせていただきましたことになりました。昨年度は皆様のご協力でPTA活動を無事に終了することができました。ありがとうございます。

一学年

希望の一步

一学年委員長 石井 宮子  
 このたび第一学年の学年委員長を努めさせていただきましたことになりました。微力ながら子ども達と、学校の活動の助けになれます様に頑張りたいと思います。

子ども達は最高学年に進級し自分の将来を考える時期になりました。親として子どもに何をしたいのか、と考えることもあります。わが身をふり返ると高校三年生の時、多少は勉強したはずですが覚えていないのは休み時間に友だちと話した好きな人のことや、学校帰りに寄ったアイスクリーム屋で食べたチョコチップ。親と何を話したのかはあまり記憶にありません。

二年生に進級した子ども達、学校にも慣れ、それぞれに充実した毎日を送っているかと思えます。気を抜いてしまいがちな中間の学年ですが、将来を決めていく上で、とても重要な年ではないかと思えます。オープンキャンパス等にも積極的に参加して自分の進路についてじっくり考えるいい時だと思えます。

四月五日の入学式、喜びと希望に満ち溢れる凛々しい制服姿は、私も保護者にとりましてとても眩しく、成長を感じる瞬間でありました。

例年より早く開花した桜の花たちも、前日までの風雨にも負けずに力強く咲き、宇都宮南高の伝統と勢いを、私達新入生にも示してくれていたように思います。

ただ、学校から家に帰ると家族が「おかえり」と声をかけてくれ温かい夕食を毎日たべていました。

子どもたちに気持ちでは寄り沿い、そっと見守っていければと思います。

高校生活もあと少しになってしまいました。子どもたちが有意義に過ごせるよう、先生方、役員、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

ただ、日々の学校生活はもちろん、学校祭や修学旅行等の行事を通して友人関係を深め、友達という一生の宝物をたくさん作ってほしいものです。

今年度も、子ども達が充実した高校生活を送ることができま

日々生活に慣れてまいりました子ども達、勉強に、部活動、クラスの活動など様々な変化にも対応出来るようになり、充実した高校生活を送っているのだと思えます。

しかし、三年間はこれからの自分の道標を探し出し、進み出す力を手にしなければならぬ大切な時間です、この宇都宮南高で学びながら、多くの人間関係をを通して学力や、人間力を一杯伸ばしてくれるものと信じています。

子ども達が充実した高校生活を送ることができるよう、先生方、会員の皆様と共に活動していきたいと思えます。

皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。